

キャラクター名
嶋野 陽斗

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	暗殺者	カヴァー	
	サラマンダー					
オプション			年齢	20	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	加虐		初期侵食率	32 %
出自	犯罪者の子	経験	被害者	邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	0	0	1	2	7	行動値	10
感覚	0	1	0		2	3	(非装備時)	10
精神	2	0	0		2	4	戦闘移動	15
社会	2	0	0		2	4	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	12		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
託された願い					
デモンズシード					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
両親	P 憧憬	N 悔悟			
「僕」	P 遺志	N 憐憫			
双海 紫水	P 純愛	N 恐怖			
京極 千冬	P 信頼	N 脅威			
ラカン	P 友情	N 脅威			
Uriel	P 同情	N 憐憫			
紫水晶の魔眼	P 同情	N 悔悟			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: いつもの								
氷炎の剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器作成(攻撃力Lv+6、G値6、命中-2、射程:至近)								
地獄の氷炎	7	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果: 氷炎の剣で作成する武器の攻撃力もしくはガード値を+ [Lv×3] する。どちらか選択で片方のみ適用								
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 飛行状態で戦闘移動を行う。その際、移動距離を+ [Lv×2] m する。								
炎の刃	7	2	メジャー	武器	-	対決(白兵)	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+ [Lv×2] する。								
アマテラス	6	4	メジャー		単体	対決(白兵)	リミット	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+ [Lv×4] する。ただし、このエフェクトを組み合わせた攻撃の判定のダイスを-2個する。								
結合粉碎	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	ピュア	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+Lv個する。さらに、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。								
クロスバースト	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	80↑	
効果: このエフェクトを組み合わせて行う攻撃の攻撃力を+ [Lv×4] する。ただし、このエフェクトを組み合わせた判定のダイスは-2個される。								
閃熱の防壁	5	4	オート	視界	単体	自動	ピュア	
効果: 対象にHPダメージが適用される直前に使用。対象が受ける(予定の)ダメージを- [Lv+2] Dする。このエフェクトはあなたを対象に出来ず、1ラウンドに1回まで使用できる。								
苛烈なる火	5	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: あなたが行う攻撃の攻撃力を+ [Lv×3] する。ただし、あなたはHPを5点失う。								
氷の加護	7	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: そのメインプロセスの間、あなたが行なうサラマンダーのエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+ [Lv×2] する。								
自動体温	★							
効果: 体温調節								
熱感知知覚	★							
効果: 熱を視覚で知覚								

ひきこもり暗殺者。
 普段は基本引きこもっているが、時々くる依頼を気まぐれに受けては対象を殺している。
 中学生の頃に父親が一家心中を図り、母親と当時同居していた父方の祖父、祖母は死亡。
 自分と父親は生き残り、父親は今でも投獄されている。

暗殺者になるきっかけは、父親が一家心中を図った時にオーヴァードとして覚醒したこと。それが理由で組織に目をつけられ、自分一人で生きるあてもなかったため言われるがままに組織に入る。
 その後ひきこもりつつ、金の必要な時には殺しをして生活費を稼ぐという生活を送っている。何故か依頼の強制はされていなく、自分で受けたと思った時に受けて殺すという適当なスタイル。
 オーヴァードとしての能力もあり、依頼の達成率はなかなか高い。まあそもそもの依頼を受ける数自体少ないのだが。

今回も、組織から研究員を殺す依頼が届き、ちょうど生活費が底をつき始めていたため依頼を受けた。

「全部、終わった。んで、またこれから始まる。」